

市場シェア No.1 データ連携ソフト「ASTERIA Warp」新バージョン提供開始 データ連携の構成を「見える化」し、柔軟なシステム仕様変更を容易に実現 ノーコードのデータ連携標準として、機能性・利便性のさらなる進化へ！

アステリア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：平野洋一郎、証券コード：3853、以下アステリア）は、企業データ連携（EAI/ESB）製品の国内ソフトウェア市場で16年間連続シェア No.1^{*}を獲得している「ASTERIA Warp（アステリア ワープ）」（以下、Warp）シリーズの新バージョンの提供を、本日より開始することを発表します。

■新バージョンで機能を強化する背景

コロナ禍でクラウドを活用したリモートワークや、幅広い業界でのクラウドサービスと社内システムの連携、さらには改正電子帳簿保存法への対応など、新たなデータ連携ニーズが拡大しています。Warp は、ノーコードでデータ連携を可能とするソフトウェアとして企業データ連携製品の国内ソフトウェア市場で16年連続シェア No.1 を獲得し、データ連携ソフトの標準として進化を続けています。

今回の新バージョンでは、様々な業界からのニーズに対応するためノーコード開発ツールとして開発や運用管理面での機能性や利便性が大幅に進化。データ連携における開発処理の流れと接続設定などの構成要素の表示機能を追加し、「見える化」を実現しました。また、スケジュールのカレンダー表示機能や、フローで利用される接続の一覧表示機能も搭載したことで、既存の運用システムの変更などに柔軟に対応することが容易になります。

さらに、サブスクリプション版である Warp Core には市場ニーズに応じて Linux 版を追加。ラインアップの強化により、中小企業などからの低コストニーズへの対応を通じて、システム開発における導入・運用コストの削減や、幅広い企業のデータ利活用の推進に貢献します。



■新バージョンで追加される主な機能

見える化機能	<ul style="list-style-type: none"> ・「接続呼出元」表示機能 接続を使用しているフローや、コンポーネントを表示 ・「接続一覧」出力機能 フローの中で使用されている接続の一覧を仕様書に出力 ・スケジュールのカレンダー表示機能 スケジュールの登録内容をカレンダー形式で表示
基本機能追加／拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリーム形式に JSON を追加 ・SFTP サーバを新たに搭載（FTP トリガーで利用可能）
マッパー関数追加／拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・進数変換機能を追加 ・UnixTime と DateTime の相互変換機能を追加
対応アプリケーション環境	<ul style="list-style-type: none"> ・Amazon Athena
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ASTERIA Warp Core/Core+ の Linux 版を提供開始 ・ログ出力機能を Apache Log4j から独自実装へ変更

（今回のバージョンアップに伴う製品ラインアップや価格の変更はありません）

■今後の ASTERIA Warp ビジネスの展開

アステリアの Warp はビジネスを順調に拡大し、現在の導入社数は 9,800 社を突破するなど、企業データ連携市場（EAI/ESB）では 16 年連続シェア No.1 を継続しています。幅広い業界での DX 推進や改正電子帳簿保存法の施行に伴う連携ニーズに加え、インボイス制度対応におけるニーズも見込まれるなど、新たな引き合いも拡大しています。

今後も、Warp の多様なデータソースとの連携機能を様々な業界に拡販するとともにノーコードの特徴を生かし、IT 人材不足解消など社会課題解決に向けたデータ活用を支援し、業務の効率化・自動化等の推進に貢献してまいります。

※：出典：テクノ・システム・リサーチ社「2022 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」 EAI/ESB は、それぞれ Enterprise Application Integration、Enterprise Service Bus の略で企業内外のデータ連携を司る製品カテゴリーを指す。

■「ASTERIA Warp」について（Web サイト <https://www.asteria.com/jp/warp/>）

EAI/ESB 製品の国内市場において 16 年連続シェア No.1 製品である「ASTERIA Warp」は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノーコードで連携できる ASTERIA Warp を主力製品とするミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。ASTERIA Warp Core は、ASTERIA Warp の厳選された機能を初期費用 0 円、月額 30,000 円からのサブスクリプション形式で「手軽」にご利用いただけます。様々なシステムやサービスと迅速に連携することで業務自動化やデータ活用を実現します。

■「アステリア株式会社」について（Web サイト <https://www.asteria.com/>）

1998 年に創業し、2002 年に最初のノーコード製品の提供を開始したアステリア株式会社（当時インフォテリア株式会社）は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA Warp は、異なるコンピューターシステムのデータをノーコードで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に 9,809 社（2022 年 9 月末現在）の企業に導入されています。また、Handbook シリーズは、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、1,670 件（2022 年 9 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR 部：長沼史宏・齋藤ひとみ

TEL: 03-5718-1297 / 携帯: 080-7709-5212 (齋藤) / E-mail: press@asteria.com

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

アステリア株式会社 マーケティング本部：東出 武也

TEL: 03-5718-1250 / E-mail: pm@asteria.com

アステリア、ASTERIA、Handbook はアステリア株式会社の登録商標です。

その他記載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴ等は各社の商標または登録商標です。